

## 研究課題名

透析患者における細胞外液/細胞内液比の変化が生命予後に及ぼす影響について

## 研究責任者の氏名

矢島隆宏

## 共同研究者の氏名

荒尾舞子

## 研究の概要

目的: 透析患者においては、Protein-energy wasting(PEW: 体脂肪と筋肉の減少)という栄養障害が知られている。生体インピーダンス法により求められる細胞外液/細胞内液比(E/I 比)は、体液貯留と栄養障害を同時に反映することが期待される指標として知られている。我々は、E/I 比が透析患者において、生命予後を予測する指標であることを報告した。しかしながら、臨床経過の中で E/I 比は変化することが考えられる。今回、E/I 比の 1 年間の変化率( $\Delta$ EI)と PEW との関連、さらに全死亡と心血管死亡との関連を調査する。

対象と方法: 2008 年から 2020 年の間に、当院外来にて維持透析患者の中、生体インピーダンス法にて細胞内液と細胞外液を測定し得た患者さんを対象とする。カルテから、身長、体重、年齢、性別、既往歴、血液検査データ、生体インピーダンス法、観察期間内転帰(全死亡、心血管死亡)などのデータを収集する。匿名化した後に、ベースラインの E/I 比と 1 年後の EI 比から  $\Delta$ EI を計算する。 $\Delta$ EI と関連するパラメーターを評価する。さらに、 $\Delta$ E/I と生命予後との関係性を評価する。研究に関する記録は、研究終了後 5 年間保存した後に消去します。なお、研究の成果に関しては、学会発表や論文投稿する予定です。住所、氏名などの個人情報が公開されることは一切ありません。

## 利用する情報の項目

身長、体重、年齢、性別、既往歴、血液検査データ、生体インピーダンス法、観察期間内転帰

## 利用するものの範囲

医師: 矢島隆宏、荒尾舞子

## 連絡先

松波総合病院 腎臓内科 矢島隆宏

TEL: 058-388-0111

FAX: 058-388-4711